

第1期 9月開講  
平成28年

福井ものづくり改善インストラクタースクール

# 受講生募集案内

## 生産革新を実現するための 「よい設計」と「よい流れ」づくりを 全国から招聘した現場経験豊富な講師陣が 全力で教授します！

### スクールの概要

日本の「ものづくり」がその生産性を一層高めると、今なら新興国を含めた諸外国との競争に勝つことが可能です。この競争力の源泉は企業の現場にこそあります。

そこで「福井ものづくり改善インストラクタースクール」では、生産効率を高める「よい設計」と「よい流れ」を作る現場改善の知識や手法を、県内中小企業の中核を担う現場の従業員の方や、多くの現場経験を有する企業OBの方に学んでいただきます。スクール修了後、企業従業員の方には、現場改善活動の中心となって自社の競争力強化に努めていただきます。また、企業OBの方には、県内中小企業からの派遣要請に応じて、派遣先企業の生産性向上に向けた現場改善活動に取り組んでいただきます。

### スクールの特長

#### 実践的・体系的なカリキュラム

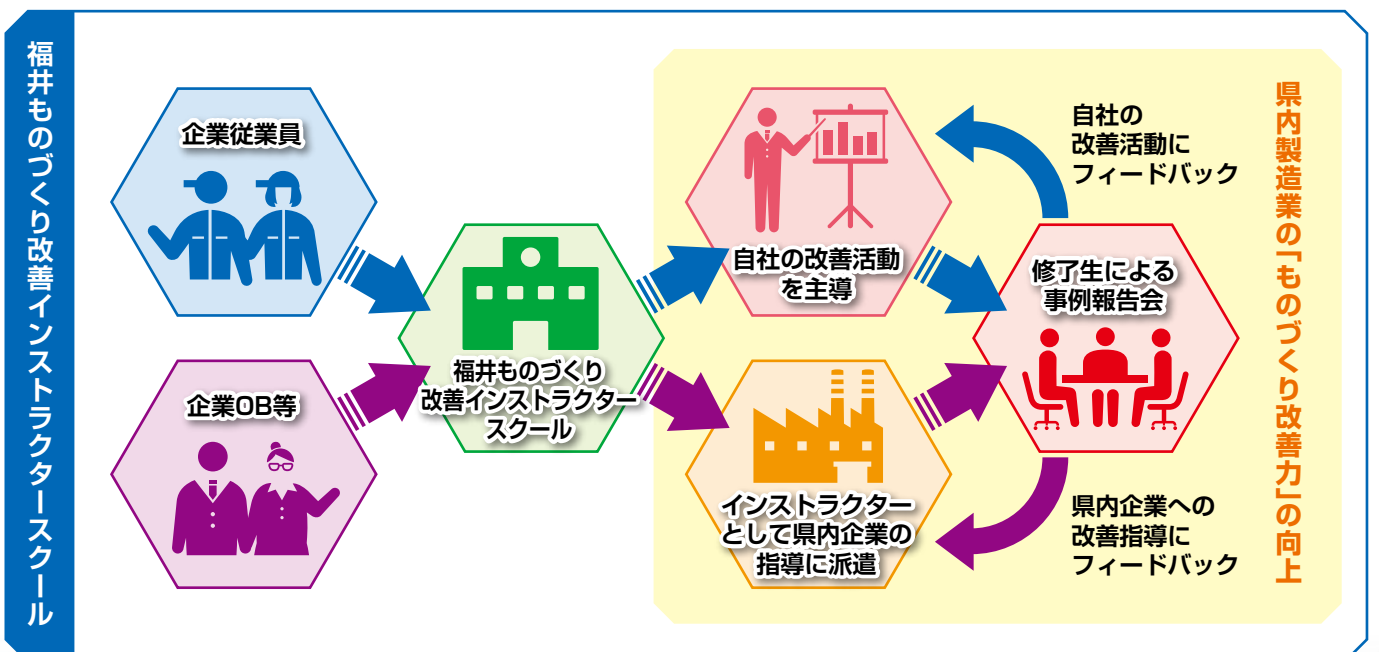
東京大学ものづくり経営研究センターと共同開発した、講義・演習・現場実習からなる中小企業現場のためのカリキュラムです。東京大学 藤本隆宏教授のものづくり理論をベースにしたオリジナルテキストを使用します。

#### 経験豊富な講師陣

東京大学ものづくり経営研究センターの協力による経験豊富な講師陣が担当します。製品の企画・開発から生産まで、幅広い領域をカバーできる多彩な講師を揃えています。

#### 充実したフォローアップ体制

修了後も技術向上を図り現場の改善に活かせるよう、継続的なフォローアップ体制を確保します。同期生・スクールとの情報交換会や成果報告会なども予定しています。



## スケジュール

実施日		カリキュラム	
9月 8日	木	開講式	
		ものづくりの基礎概念	「ものづくりとは設計情報の創造・転写である」との概念を正しく理解する。
		競争力と企業パフォーマンス	組織能力の向上が「裏の競争力」(Q.C.D.F)を高めることを理解する。
9月 15日	木	コストと生産性	製品のコストを管理する原価管理と生産性向上の進め方を理解する。
		納期・工程・在庫管理	変種変量・短納期受注への対応方法として、生産計画・工程管理の大切さを理解する。
		品質管理	工程内で品質保証するための考え方について理解する。
9月 29日	木	IE	現場の作業改善の基本であるIE手法を学び、その活用方法を理解する。
10月 6日	木	標準作業と標準時間	工場管理の基礎である標準作業と標準時間について、その必要性とそれぞれの設定方法を理解する。
10月 13日	木	VSM(現状と狙うべき姿)	モノと情報の流れをVSM図に描き、見えにくいものを見えるようにする手法を理解する。
		VSM演習	自分でVSMが作成できるように演習する。
		現場改善事例紹介	他社の現場改善事例から現場改善の進め方を理解する。
10月 20日	木	QC7つ道具と新QC7つ道具	品質改善活動に利用できるツールとしての7つ道具を理解する。
		問題発見の着眼点	「作業者の眼」と「管理監督者の眼」をもって現場を観察することで問題点が見えてくることを理解する。
10月 27日	木	コミュニケーションの進め方	お互いの信頼関係の上に、相手の立場を理解し、自分の考えを発信するポイントを理解する。
		コーチングの進め方	会話を通じて相手が行動を起こす意欲が湧いてくるプロセスを、3つの心構えなどを通して学習する。
		インストラクティングの基礎	現場で頑張っている従業員と協力し、どのように効果を上げるかという視点に立った活動の進め方を理解する。
11月 2日	水	5Sの自社取り組み報告・討議	企業体質の改善に有効である5Sについて活動の進め方を理解する。
		現場改善の進め方・定石の作り方	ものづくり現場に立ったときの基本パターン(兆候から改善への展開)を理解する。
11月 9日	水	実習現場見学(3社)	これまで学んだ内容をもとに現場改善のイメージづくりをする。
		テーマ・目標設定	実習先からの依頼内容を踏まえて、よい流れにするためのテーマ・目標を選定する。
11月 16日	水	現場改善実習(1)	
11月 17日	木	チームディスカッション	
11月 30日	水	現場改善実習(2)	
12月 1日	木	チームディスカッション	
12月 7日	水	現場改善実習(3)	
12月 8日	木	チームディスカッション	
12月 14日	水	実習先での成果発表と個人定石作り	
12月 15日	木	全員成果発表と個人定石発表	
		修了式	

## 講師紹介

### 窪田 正明 (統括責任者)

福井村田製作所生産技術部門で工程設計業務に従事。村田製作所グループの海外拠点の製造部長、海外事業所の総経理、村田製作所の資材部長を歴任。2015年7月から福井ものづくり改善インストラクタースクールの立上げ業務に従事、東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第11期修了。

### 秦 俊道

日東電工(株)で生産技術部門・人事教育部門に所属。定年退職後C&L研究所を設立し、中小企業の社員教育や現場改善を指導。愛知工科大学非常勤講師。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第3期修了。

### 本間 恒男

松下電器産業(株)でVTR等機器の開発設計業務等に従事。同社で各工場長、生産革新本部・企画本部GM等を歴任。定年退職後、(株)オンテックで生産事業本部工場長に就任。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第2期修了。

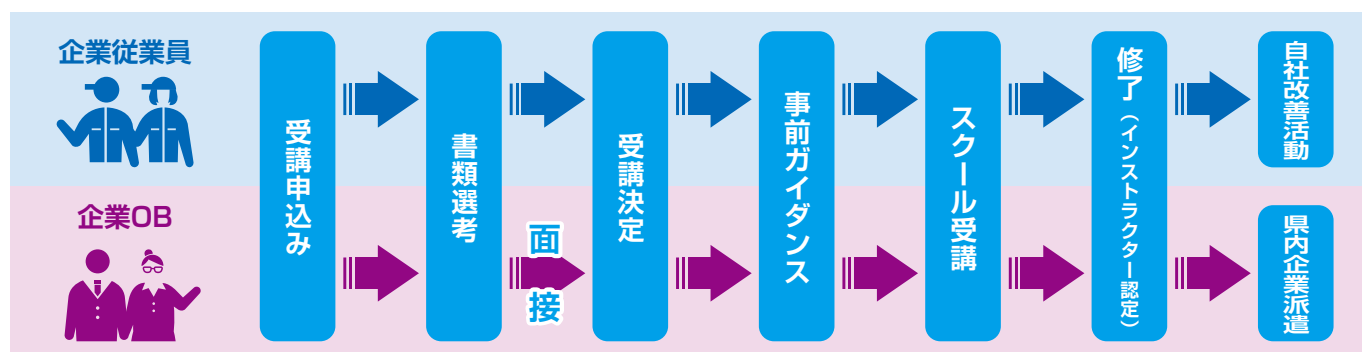
### 浅野 邦明

日産自動車(株)でIE技術を基軸に能率管理、原価、VA等の業務に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクールを1期生として修了。群馬ものづくり改善インストラクタースクールで講師を務めるほか、中小企業の改善に従事。

### 伊藤 雄三

山形大学大学院ものづくり技術経営学専攻(MOT)修士。米国系精密ろ過フィルターメーカー日本法人の管理統括を30数年勤務。シニアインストラクターとして山形県内外企業のコンサルティングを行う。ものづくりシニア塾第1期修了。

## 申込みと受講の流れ



**開講期間** 平成28年9月8日(木)～12月15日(木)

**会場** **講義・演習** 福井県中小企業産業大学校(福井市下六条町16-15)

**実習** 各協力企業

**募集人数** 12名程度

**受講料** **企業従業員** 30万円(税込)

**企業OB等** 5万円(税込)

※従業員を派遣する企業は、受講料の補助制度が利用できます。(補助には条件がありますので詳細はお問合せください。)

**応募要件** **企業従業員** 県内に主たる事業所を有する中小製造事業者のリーダーまたは幹部候補であって、生産管理、品質管理、生産技術等の部門を経験し、ものづくりに関する予備的知識を有すること。

**企業OB等** 大手・中堅製造業で工場等の現場経験豊富な方(工場長、生産管理部門・生産革新部門等の責任者をされていた方が望ましい。)

※企業OB等については、修了後、県内企業の指導に従事していただくことが条件となります。

**申込期間** 平成28年5月9日(月)～6月30日(木)

**申込方法** 所定の申込書に職務経歴書を添付して、下記まで郵送または持参してください。応募要件に合致しない場合や申込み多数の場合は受講できないことがありますのでご了承ください。※申込書は、ホームページからダウンロードできます。(www.fisc.jp/fiib/monodukuri.html)

**お問合せ** **fisc** 公益財団法人 ふくい産業支援センター 人材育成部(福井県中小企業産業大学校)

福井市下六条町16-15 **TEL** 0776(41)3775 **FAX** 0776-41-3729 **E-mail** monodukuri@fisc.jp